

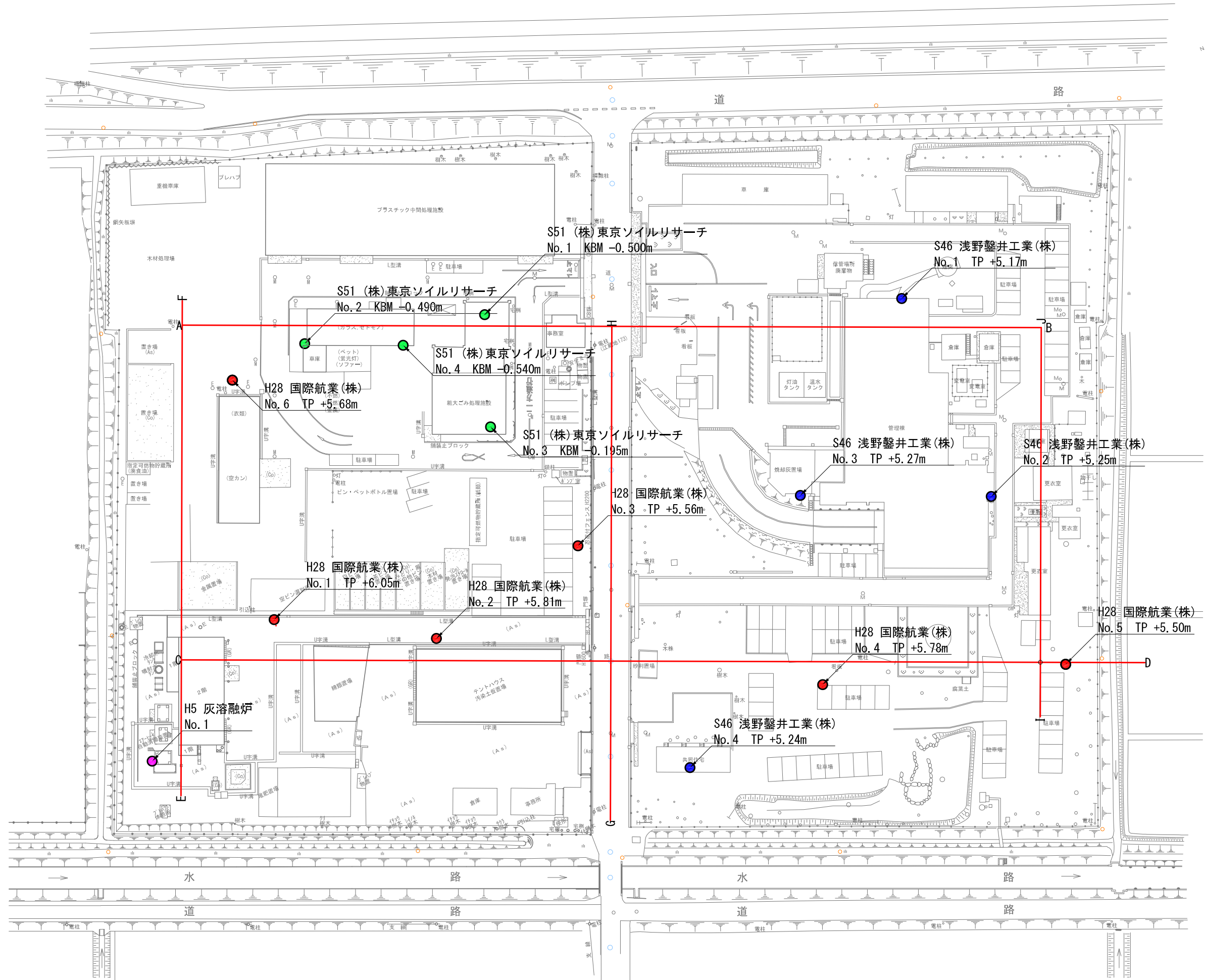
巻 末 資 料

- ・ 調査位置図 巻－ 1
- ・ 地質想定断面図 巻－ 3
- ・ 沖積層基底等深線図 巻－ 10
- ・ ボーリング柱状図 巻－ 12
- ・ 孔内水平載荷試験データ 巻－ 19
- ・ 室内土質試験データ 巻－ 33
- ・ 液状化の検討結果 巻－147

調査位置図

調査位置図

S=1:400 (A1)
S=1:800 (A3)



- 今回調査
- 既存調査
 - S46
 - S51
 - H5

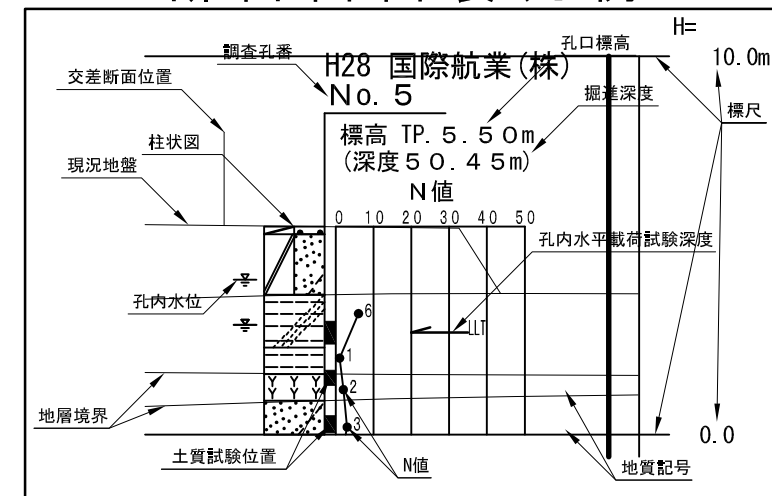
地質想定断面図

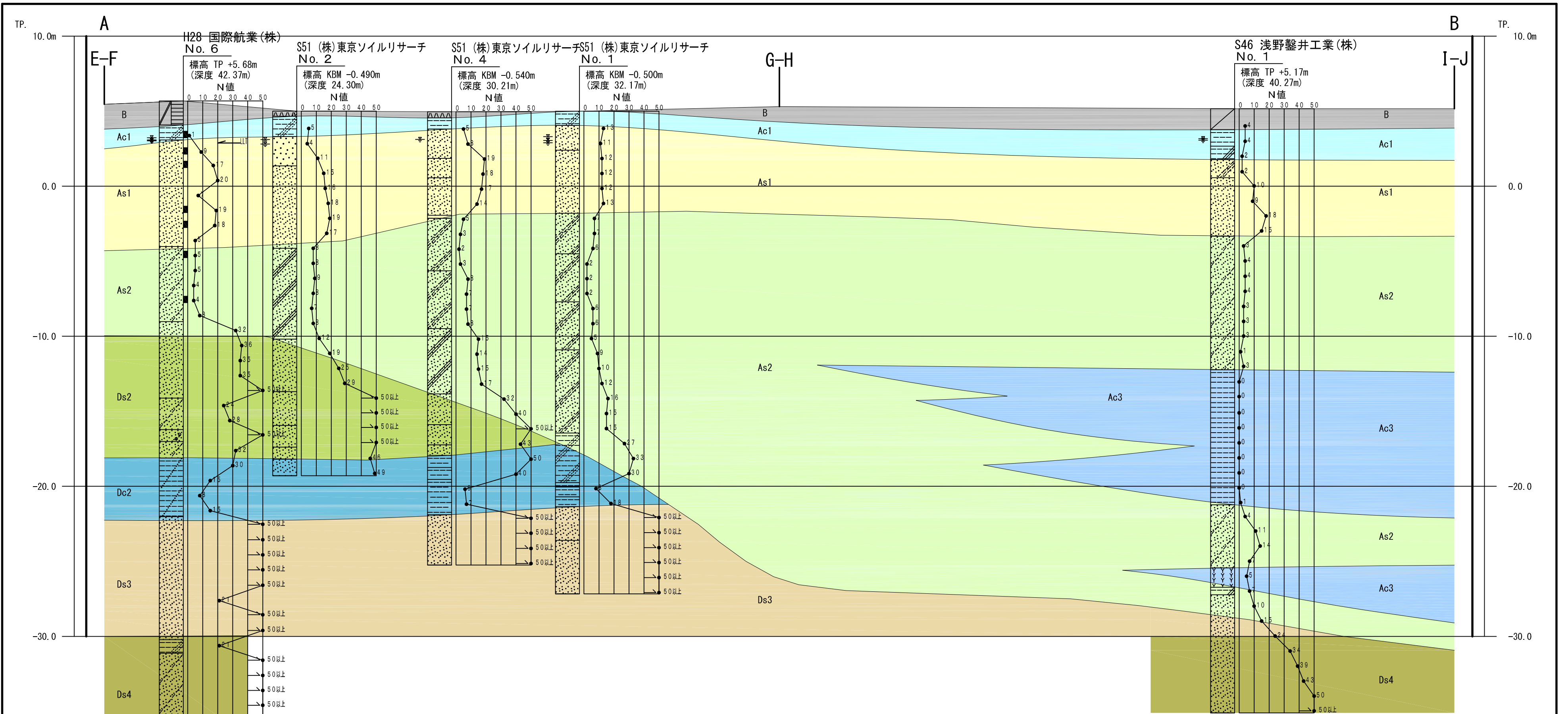
地質層序表

地質時代	地層名	地質記号	土質名	色調	下限標高 TP. m	層厚 (m)	分布N値	地層の主な特徴
現世	盛土層	B	粘性土 砂混じりシルト 砂質シルト シルト混じり細砂	暗茶褐 暗灰 茶灰 黄褐	+3.03 ~ +4.21	1.60 ~ 2.75	1~5 (1.5)	調査地全域の表層に分布。粘性土を主体としているが、No. 5地点のみ砂質土が主体。部分的に礫の混入がみられ、改良されている箇所もある。No. 4地点では、微細な腐植物を混入。
完新世	沖積層	Ac1	シルト 砂質シルト	淡青灰 暗灰	+1.60 ~ +3.21	1.00 ~ 2.10	0~6 (0.9)	調査地全域に分布。No. 2、No. 6地点で分布下限標高が高く、No. 1、No. 3地点で欠損。有機質土や腐植物が混入する粘性土を主体。植物根跡がみられる。
		Ap	腐植土	暗褐灰 黒褐	+0.90 ~ +1.08	0.70 ~ 0.90	2 (1.8)	表層の浅い谷地形にあたるNo. 4、No. 5地点の底部にほぼ水平に分布。繊維質の残る腐植物を主体。部分帯に有機質土やシルトを挟む。下部では砂を含有。
		As1	シルト質細砂 シルト混じり細砂 細砂 中砂	暗灰	-4.02 ~ 0.00	0.90 ~ 7.10	1~28 (8.3)	調査地全域に分布。分布下限標高は、東に向かって高くなる傾向がみられる。全体的に均質な砂を主体。所々に腐植物や木片を混入。No. 2、No. 3、No. 6地点の上部では、パミスを多く混入しラミナを形成。
		Ac2	砂混じりシルト 砂質シルト	暗灰 暗黄褐	-2.89 ~ -1.60	0.80 ~ 1.60	0~3 (0.5)	No. 1、No. 2、No. 5地点にほぼ水平に分布。腐植物や微細砂を挟む粘性土を主体。No. 2地点では円礫を混入。
		As2	礫混じり細砂 シルト混じり細砂 シルト質細砂 細砂	暗灰 暗青灰	-24.64 ~ -3.59	0.70 ~ 22.80	1~14 (4.3)	調査地全域に分布。埋没谷斜面に近いほど厚く堆積。Ac3層と漸移関係。固結シルト円礫を混入する微細~細砂を主体。No. 1、No. 2地点の埋没波食台上では、砂の粒径が粗い。埋没谷のNo. 4、No. 5地点の中~上部にかけて貝殻片混入。
		Ac3	砂質シルト 粘土質シルト	暗灰	-24.30 ~ -18.12	7.20 ~ 15.00	0~1 (0.0)	埋没谷にあたるNo. 4、No. 5地点で分布を確認。埋没谷斜面から離れるほど厚く堆積。As2層と漸移関係。貝殻片を混入する均質な粘性土を主体。微細砂を部分的に多く挟む。所々に腐植物・木片を混入。
更新世	洪積層	As3	シルト質細砂 細砂	暗褐灰 暗灰 黄褐	-30.30 ~ -26.92	4.95 ~ 6.00	6~19 (8.8)	埋没谷にあたるNo. 4、No. 5地点で、洪積層の不整合面に沿って南東側に傾斜して分布。No. 4地点では、砂の粒径が若干粗くなり、色調に黄褐色を帯び固結シルト垂角~円礫が点在する砂質土を主体。No. 5地点では、偽礫状の粘性土や砂質土が点在。
		Ds1	シルト質細砂 シルト混じり細砂	黄褐 黄褐灰 黄灰 褐灰	-8.20 ~ -8.04	4.35 ~ 4.45	18~39 (25.5)	埋没残丘にあたるNo. 1、No. 2地点にほぼ水平に分布。不規則にシルトを挟む微細~細砂を主体。No. 2地点の下部では、生物擾乱される。部分的に固結状を呈す。
		Dc1	シルト	淡灰 淡褐灰	-8.99 ~ -8.90	0.70 ~ 0.95	17~24 (18.0)	埋没残丘にあたるNo. 1、No. 2地点にほぼ水平に分布。比較的均質~若干不均質なシルトを主体。部分的に若干の砂分を含有。
		Ds2	細砂 貝殻混じり細砂 シルト混じり細砂 シルト質細砂	褐灰 暗灰 茶褐 黄褐灰	-19.04 ~ -17.65	8.75 ~ 10.05	24~50< (34.9)	埋没残丘にあたるNo. 1、No. 2、No. 6地点にほぼ水平に分布。上~中部はラミナの発達する微細~細砂を主体。TP. -16m付近で貝殻片を多く混入。下部では、生物擾乱されシルトを不規則に混入する。TP. -12~-14mでは、微細なパミスを混入。
		Dc2	砂質シルト 砂混じりシルト シルト 粘土	褐灰 黄褐灰 暗灰 淡茶褐灰	-22.02 ~ -20.99	1.95 ~ 4.10	5~37 (9.0)	埋没残丘にあたるNo. 1、No. 2、No. 6地点にほぼ水平に分布。No. 1、No. 2地点では、パミスを混入するシルトを主体。No. 6地点では、微細砂を挟む不均質なシルト。No. 1、No. 6地点のTP. -20m付近には、腐植物、木片を混入。
		Ds3	シルト混じり細砂 細砂	暗黄褐灰 暗黄褐 暗黄灰 褐灰	-30.62 ~ -27.79	3.15 ~ 8.20	21~50< (43.8)	調査地全域に分布。分布下限深度に若干起伏がみられる。沖積層が厚いNo. 5地点で欠損。所々にラミナが発達する均質な細砂を主体。下部では中~粗砂を挟み、垂角~円礫が混入。No. 1、No. 2地点では、所々に微細な貝殻片が点在。
		Ds4	砂質シルト シルト混じり細砂	褐灰 暗灰	-37.30 ~ -32.83>	5.04< ~ 7.00	21~50< (50.3)	調査地全域のDs3層の下位に分布。No. 5地点のみで分布下限深度を確認。全体的に均質な微細砂を主体。所々に若干のラミナが発達。最深部で色調が暗灰色に変化。No. 2、No. 5、No. 6地点の中~下部で貝殻片が点在。
		Dc3	砂質シルト	暗灰	-38.20	0.90	21	No. 5地点のみで分布を確認。貝殻片が少量点在する比較的均質なシルトを主体。微細砂を多く含有。サンドパイプがみられる。
		Ds5	シルト質細砂	暗灰	-43.10	4.90	24~50< (29.4)	No. 5地点のみで分布を確認。貝殻片が多く点在する若干不均質な微細砂を主体。最上部では、微細な腐植物を極少量混入。
		Dc4	砂質シルト	暗灰	-44.40	0.90	12	No. 5地点のみで分布を確認。貝殻片が点在する若干不均質なシルトを主体。
新世	層	Dp	有機質シルト	暗褐	-44.95>	0.55<	50	No. 5地点の最深部で分布を確認。淡灰色のシルトと暗褐色の有機質土が互層状に分布。若干のラミナが発達。
		Ds6	細砂	暗青灰	-44.04>	1.23<	50< (88.0)	既存資料のS46-No. 2地点の最深部で分布が確認されている。

()内の数値は代表値

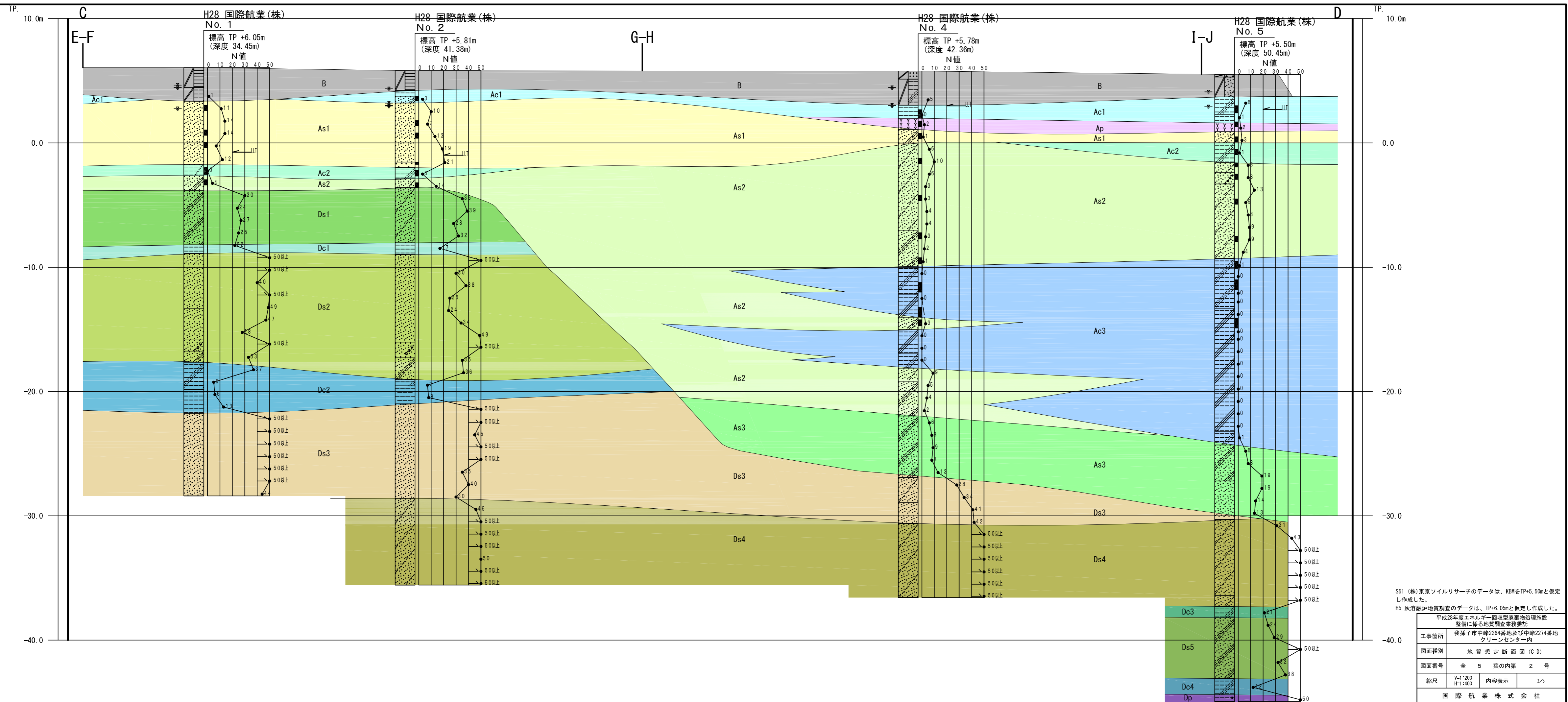
断面図図表凡例





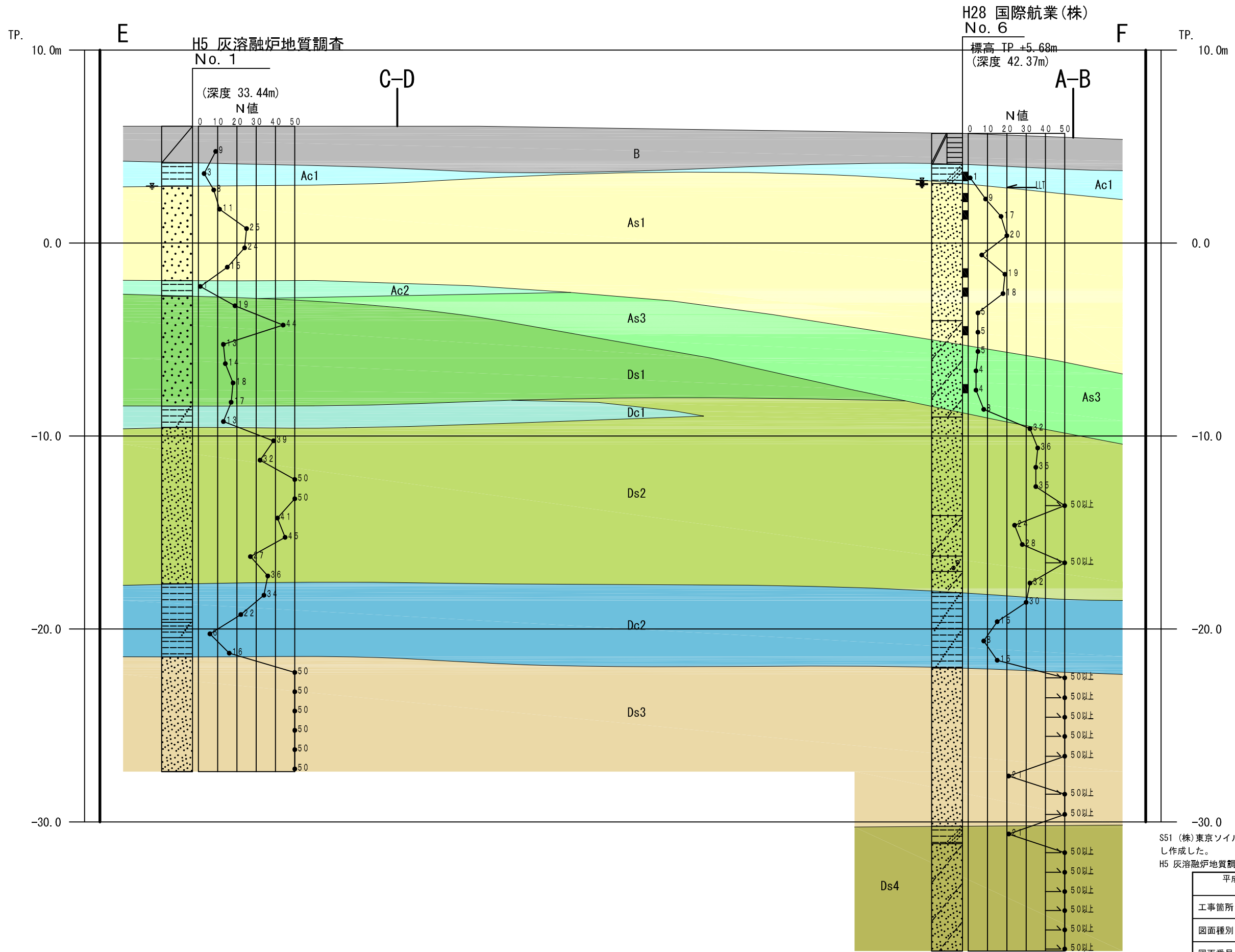
S51 (株)東京ソイルリサーチのデータは、KBMをTP+5.50mと仮定し作成した。
H5 灰溶融炉地質調査のデータは、TP+6.05mと仮定し作成した。

平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設 整備に係る地質調査業務委託	
工事箇所	我孫子市中峰2264番地及び中峰2274番地 クリーンセンター内
図面種別	地質想定断面図 (A-B)
図面番号	全 5 葉の内第 1 号
縮尺	V=1:200 H=1:400
内容表示	1/5
国際航業株式会社	



S51 (株)東京ソイルリサーチのデータは、KBMをTP+5.50mと仮定し作成した。
 H5 灰溶融炉地質調査のデータは、TP+6.05mと仮定し作成した。

平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に係る地質調査業務委託			
工事箇所	我孫子市中峠2264番地及び中峠2274番地クリーンセンター内		
図面種別	地質想定断面図 (C-D)		
図面番号	全 5 葉の内第 2 号		
縮尺	V=1:200 H=1:400	内容表示	2/5
国際航業株式会社			



S51 (株)東京ソイルリサーチのデータは、KBMをTP+5.50mと仮定し作成した。
H5 灰溶融炉地質調査のデータは、TP+6.05mと仮定し作成した。

平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に係る地質調査業務委託		
工事箇所	我孫子市中峠2264番地及び中峠2274番地クリーンセンター内	
図面種別	地質想定断面図 (E-F)	
図面番号	全 5 葉の内第 3 号	
縮尺	V=1:200 H=1:400	内容表示 3/5
国際航業株式会社		

TP.

10.0m

H28 国際航業(株)

No. 5

標高 TP +5.50m
(深度 50.45m)

C-D

N値

0 10 20 30 40 50

S46 浅野鑿井工業(株)

No. 2

標高 TP 5.25m
(深度 50.13m)

A-B

N値

0 10 20 30 40 50

TP.

10.0m

0.0

-10.0

-20.0

-30.0

-40.0

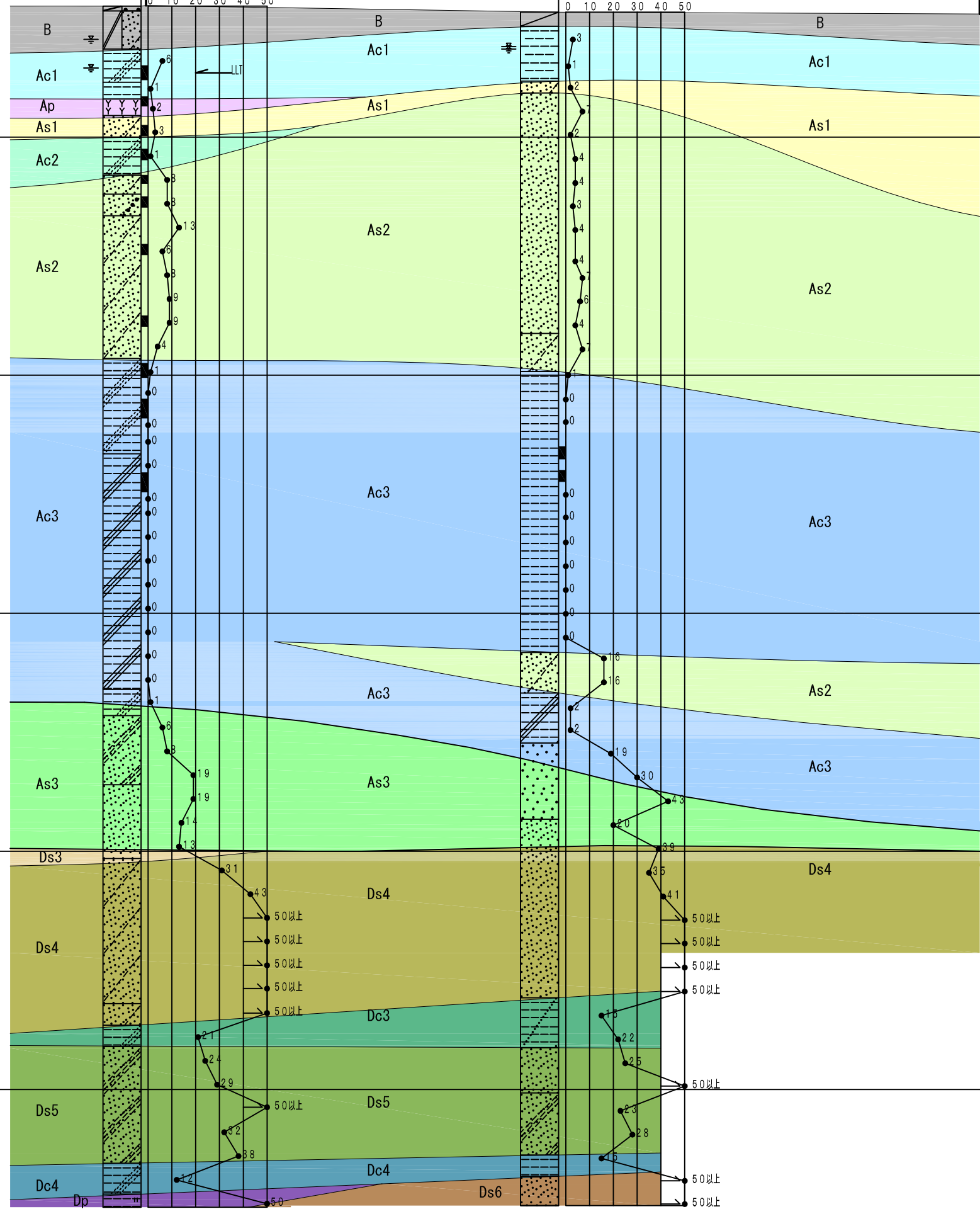
0.0

-10.0

-20.0

-30.0

-40.0



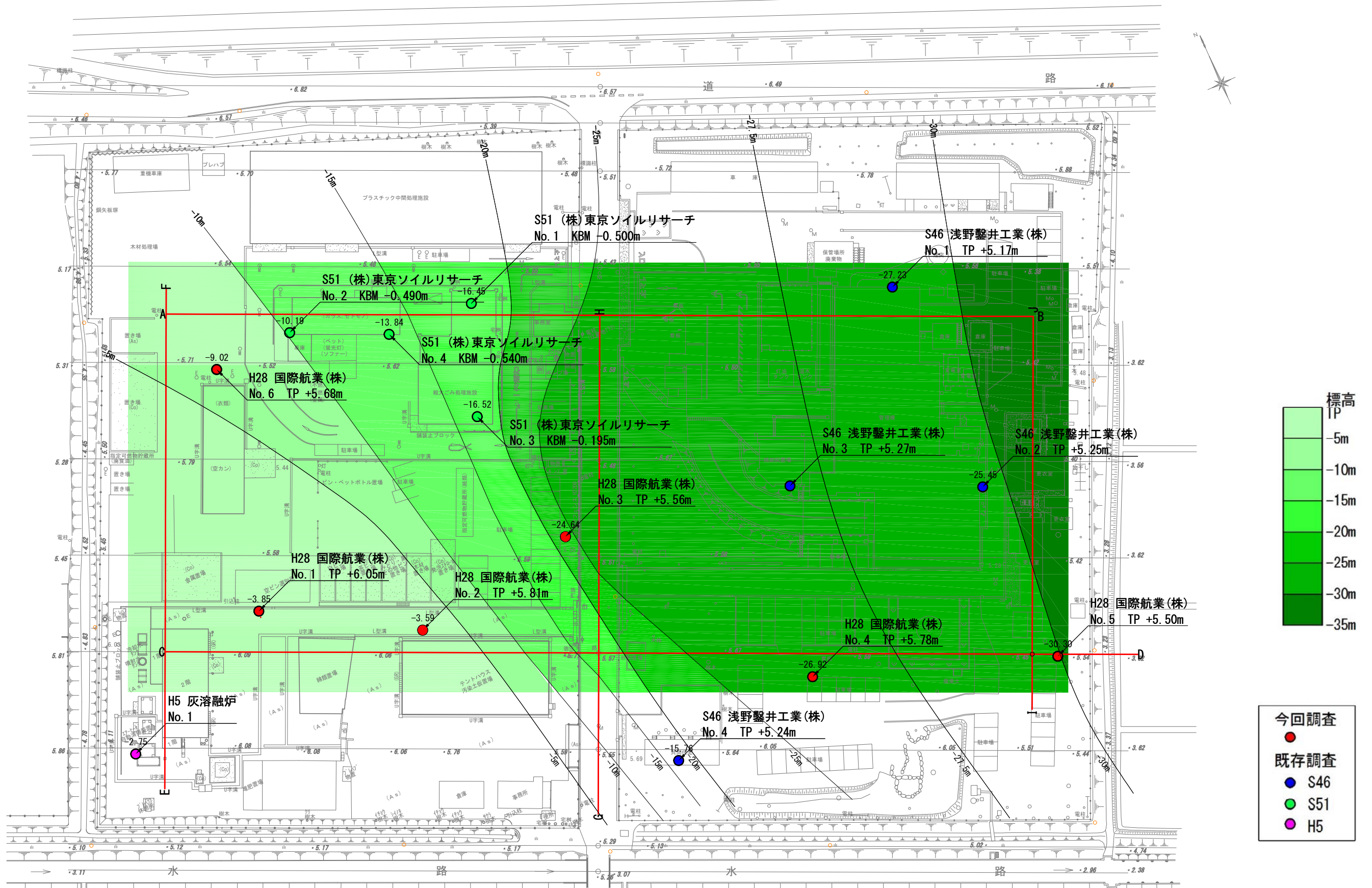
S51 (株)東京ソイルリサーチのデータは、KBMをTP+5.50mと仮定し作成した。
 H5 灰溶融炉地質調査のデータは、TP+6.05mと仮定し作成した。

平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設 整備に係る地質調査業務委託			
工事箇所	我孫子市中峠2264番地及び中峠2274番地 クリーンセンター内		
図面種別	地質想定断面図 (I-J)		
図面番号	全 5 葉の内第 5 号		
縮尺	V=1:200 H=1:400	内容表示	5/5
国際航業株式会社			

沖積層基底等深線図

沖積層基底等深線図

S=1:800 (A3)



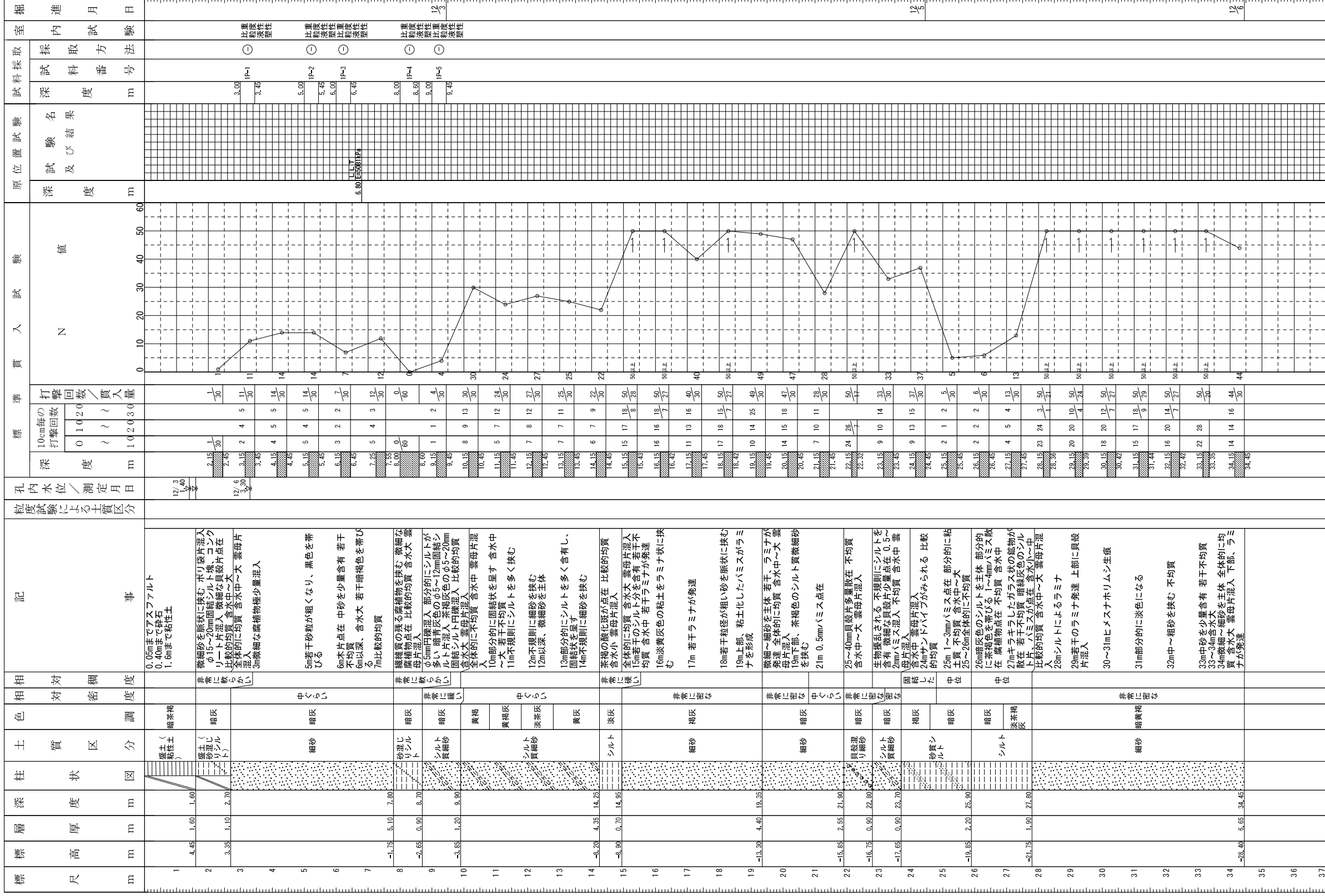
ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名 平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に係る地質調査
事業・工事名

ボーリングNo. 53406057000
シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	我孫子市中峠2264番地及び中峠274番地 クリーンセンター内	北緯	35° 52' 41.8000"
発注機関	我孫子市役所	調査期間	平成28年12月 2日～平成28年12月 6日	東経	140° 05' 38.0000"
調査業者名	国際産業株式会社 電話 042-307-7436	現場代理人	伊東広敏	ボーリング責任者	大澤裕之
TP	6.05m	主任技師	森田祥子	コピ定者	佐藤光男
孔口標高	34.45m	方角	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	使用機種	ハンマ一 落下用具
総掘進長	34.45m	角度	上 90° 下 0°	エンジン	BC-4R



ボーリング柱状図

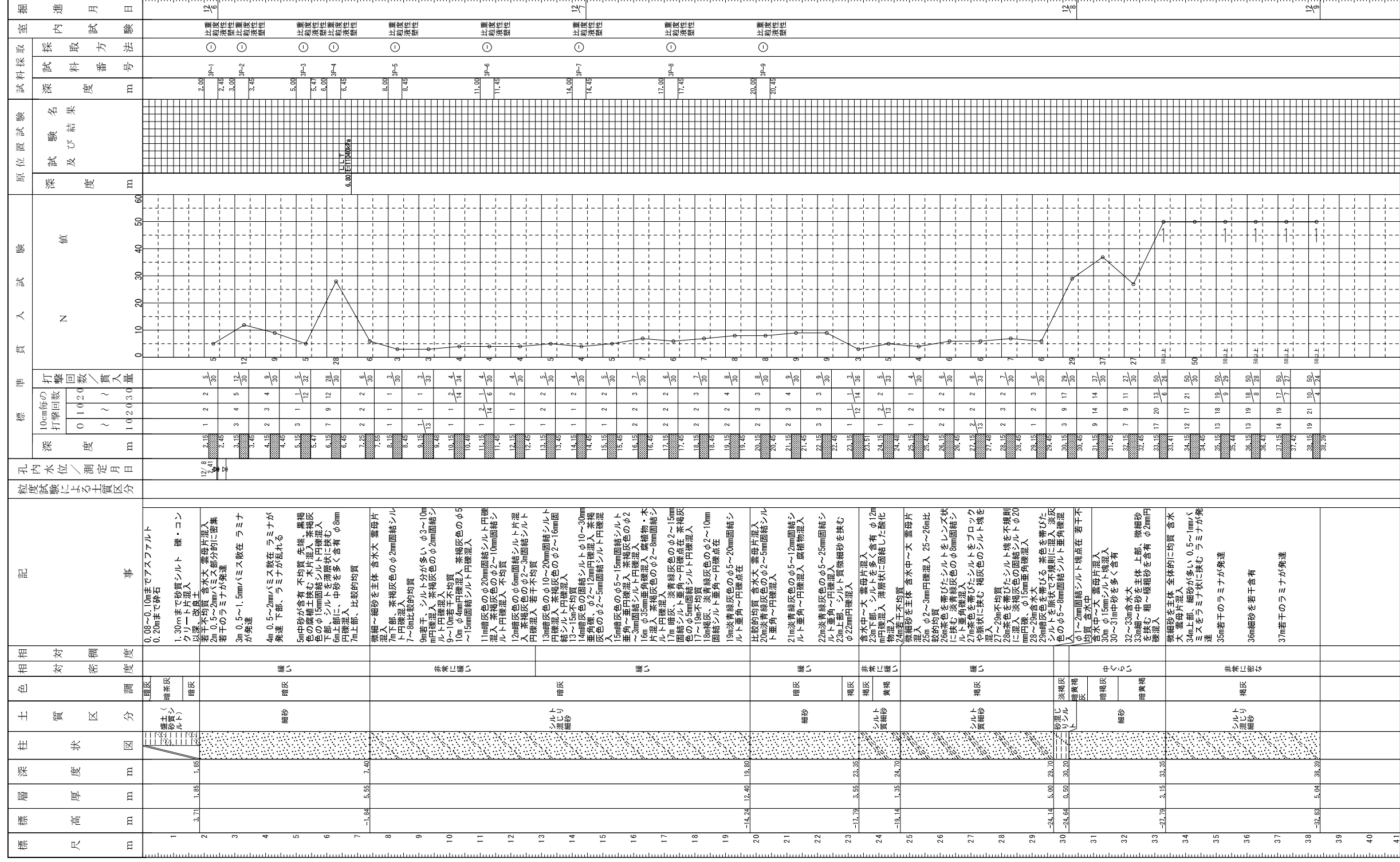
調査名 平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に係る地質調査

事業・工事名

ボーリングNo. 534060057000

シートNo.

ボーリング名 No.3 調査位置 我孫子市中峠2264番地及び中峠2274番地 クリーンセンター内 北緯 35° 52' 41.5000" 発注機関 我孫子市役所 調査期間 平成28年12月 6日～平成28年12月 9日 東経 140° 05' 40.7000" 調査業者名 国際建設株式会社 電話 042-307-7436 主任技師 森田祥子 現場代理人 伊東広敏 アゾテ 佐藤光男 ボーリング機 半自動型 孔口標高 5.56m 方角 北0° 西270° 東90° 南180° 北0° 東90° 西270° 南180° 総掘進長 38.39m エンジン NFD8-K



ボーリング柱状図

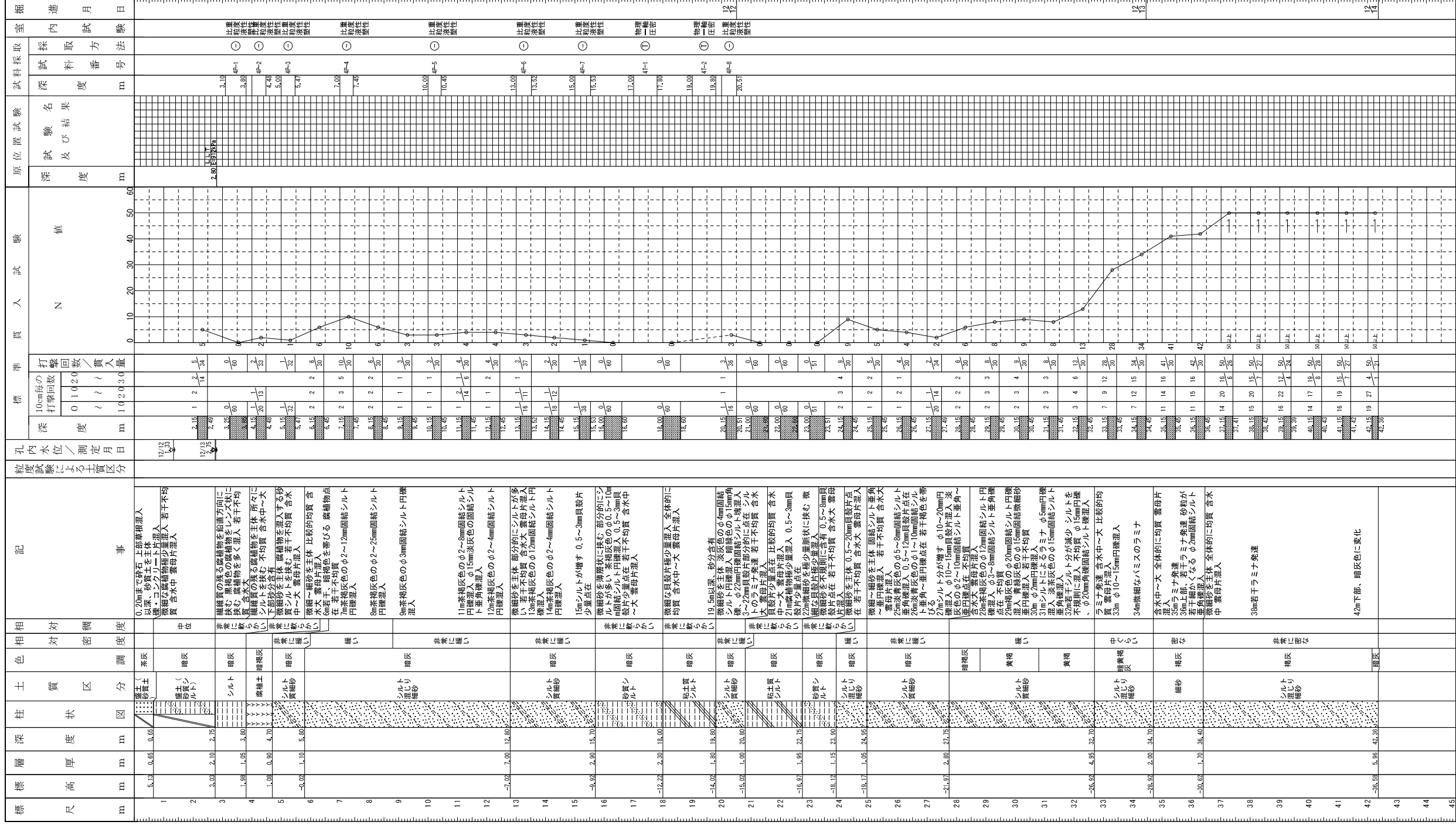
調査名 平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に係る地質調査

ボーリングNo. 53406057000

シートNo.

事業・工事名

ボーリング名 No.4	調査位置 我孫子市中央2264番地及び中峠2274番地 クリーンセンター内	北緯 35° 52' 39.8000"
発注機関 我孫子市役所	調査期間 平成28年12月12日～平成28年12月14日	東経 140° 05' 42.0000"
調査業者名 国興航空株式会社	現場代理人 伊東広敏	ボーリング責任者 堀井義久
TP 電話 042-3007-7436	主任技師 森田洋子	コピ定者
IP 高さ 5.78m	方角 北0° 20' 0" 東90° 0' 0" 南180° 0' 0" 西270° 0' 0"	使用機器 05-DHII
総掘進長 42.36m	エンジン	NFD8-K



ボーリング柱状図

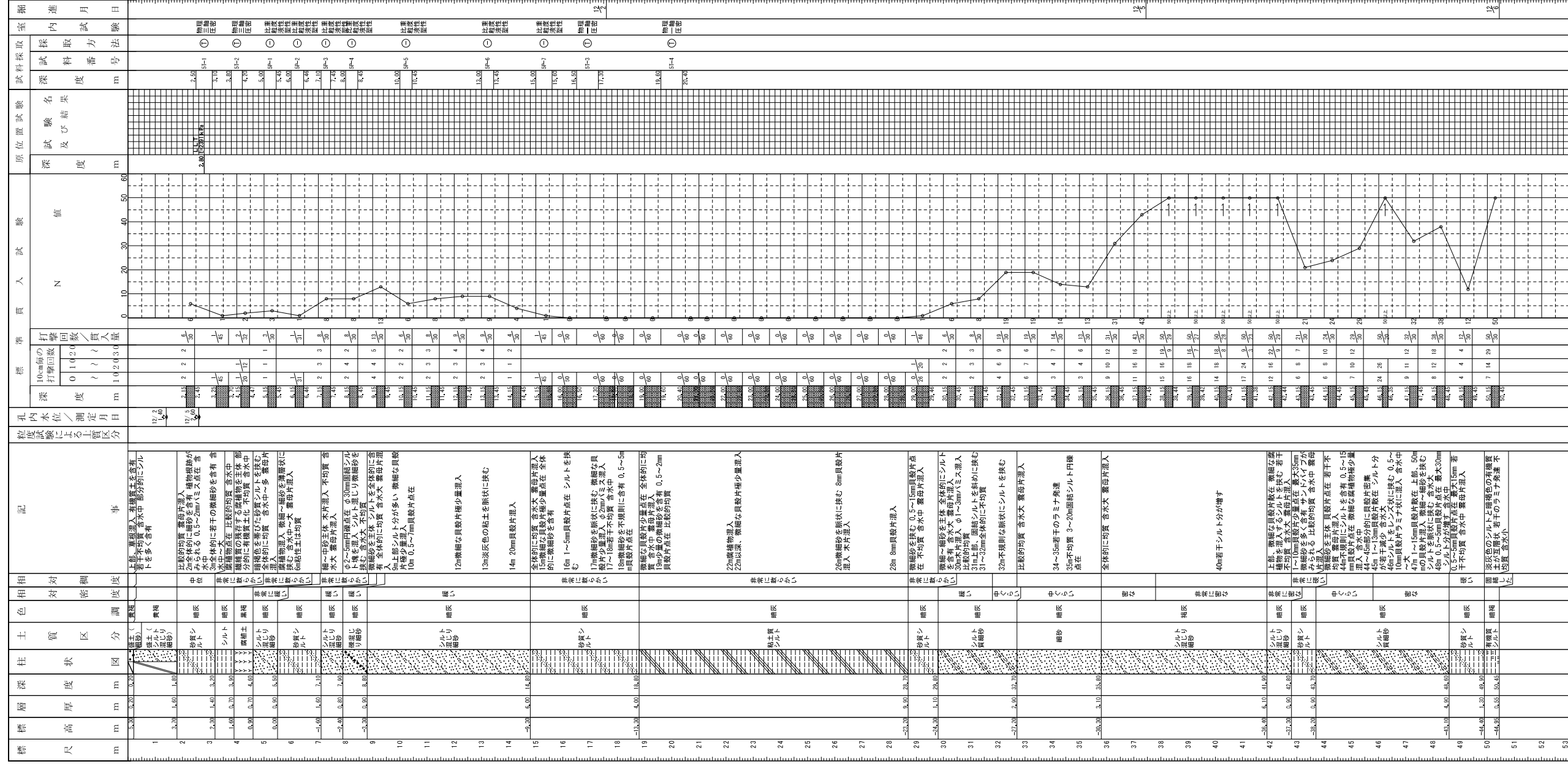
調査名 平成28年度エネルギー回収施設廃物処理施設整備に係る地質調査

事業・工事業

ボーリングNo. 53406057000

シートNo.

Header information table containing borehole name (No.5), location (Izumi City), date (Dec 6, 2016), coordinates, and company details (Izumi Engineering Co., Ltd.).



ボーリング柱状図

平成28年度エネルギー回収型廃棄物処理施設整備に係る地質調査

調査名 名 業務会社

ボーリングNo. 53406057000

シートNo.

事業・工事名

ボーリング名	No.6	調査位置	我孫子市中央2264番地及び中峠2274番地 クリーンセンター内	北緯	35° 52' 43.4000"
発注機関	我孫子市役所	調査期間	平成28年12月 7日～平成28年12月12日	東経	140° 05' 38.6000"
調査業者名	国潮航業株式会社 電話 042-307-7436	現場代理人	伊東広敏	ボーリング責任者	大澤裕之
TP	5.68m	主任技師	森田洋子	ハンママン	半自動型
孔口標高	42.37m	方角	北 0° 0' 0" 東 90° 0' 0" 南 180° 0' 0" 西 270° 0' 0"	エンジン	NFD10-MK
総掘進長	42.37m	使用機種	試錐機 D0-DR	ポンプ	BY-4R

